

あらきニュース

Ryusho Araki News

〈2021 秋冬号〉

発行: 福岡市議会議員 あらき龍昇

〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7 / TEL.092-862-8980
メール f-lopas@hf.rim.or.jp / FAX.092-862-8985



No.77

[p2]ワクチン未接種者への差別・いじめはいけません! / [p4]コロナ対策・支援は十分だった? 決算を徹底検証



もっと「人」「子ども」へ予算を!

コロナ感染症拡大による行動制限や収入減により、生活に対する不安や閉塞感、うつ状態やDV・虐待の増加など、さまざまな問題が山積みしています。自治体として住民の皆さんのために何ができるのか、自治体の責任が問われています。

福岡市の2020年度の決算を見ると、一般会計は**86億円の黒字**、財政調整基金の残高は**27億円増**、不^{用額}(予算執行しなかった額)は**425億円**(前年度比205億円増)です。適切に予算が執行されたと言えるのか疑問です。事業者支援や困窮する学生への給付の拡大など、もっと手厚い感染症対策ができたはずです。

市は「不要不急の事業を見直した、後年度へ先送りした」と言っていますが、2020年度も人工島に**150億円超**、天神ビッグバン・博多コネクティッド・ウォーターフロント開発に**19億円**使いました。コロナ禍以前からクルーズ船の寄港数は年々減少し、コロナ終息

後も増加は見込めません。中央埠頭の再開発は必要あるでしょうか? また、天神や博多駅周辺の再開発は都心部への物流・人流を集中させ、渋滞や大気汚染、緑地の減少、エネルギー消費の増大(地球温暖化を促進します)、感染症リスクの増大など、問題がますます深刻化します。このような事業こそ不要不急です。

コロナ禍により貧困と格差は一段と拡大しています。コロナ終息後も経済はV字回復するとは考えられず、格差と貧困はこのまま拡がると思われます。福岡市は不動産投機の場となりバブルの様相を呈していますが、リスクが大きい外部からの呼び込みの経済ではなく、地域で循環する経済を構築すべきです。そのためには、医療・介護・福祉、教育、文化・芸術などの支援を強化する必要がありますし、環境と調和した「グリーンな経済」に転換する必要があります。

市政懇談会のお知らせ

お気軽に
ご参加ください!



- 11月20日(土) 14時~15時 西新公民館(西新2-10-10)
- 12月4日(土) 14時~15時 野芥公民館(野芥7-23-20)

※コロナ感染拡大の場合、中止することがあります。参加される方は前日までに事務所へご連絡ください。

市民の声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2021年前半の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。

あらき事務所

☎ 092-862-8980



あらき 龍昇
公式ウェブサイト
<http://www.araki-jp.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —

森あやこ ニュース

発行: 福岡市議会議員 森あやこ

〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階

TEL.092-662-5077 / FAX.092-662-5097

<http://ayako966.blog.fc2.com/>

Ayako Mori News



[p2]ワクチン未接種者への差別・いじめはいけません! / [p4]コロナ対策・支援は十分だった? 決算を徹底検証

感染症を予防すること

日本古来の発酵食品の力で悪玉菌やウイルスに勝つ!

厚労省公表の2020年人口動態統計(確定数)の概況によると、死因簡単分類別にみた国内のコロナ感染の死亡数は3,466人です(2019年のインフルエンザ死亡数は3,575人)。日本での死者が少ない要因として、日本古来の発酵食品を日頃食べているからではないかと言わ

れています。

私たちの体には常在菌が存在します。善玉菌がよく働き腸内環境が整っていると、悪玉菌やウイルスが侵入しても免疫の働きで発症しないか、発症しても軽症ですみ、回復も早くなります。

運動不足とストレス蓄積していませんか?

大気汚染、海洋汚染、土壌汚染、食品添加物、ワクチンの添加物、薬品など、私たちの暮らす環境には化学物質がたくさんあります。体内に取り込まれると、血液をめぐり、健康への不具合を起こす要因となります。

自粛生活は不健康になりやすいため、適度な運動、良質な睡眠、ストレスをため込まないなどに気を配り、

必要な栄養と酸素を十分に取り込むことが健康のための基本であり重要です。お味噌や納豆、ぬか漬けなど日本古来の発酵食品を朝晩食べ、重曹風呂でデトックス(化学物質を体から出す) & リラックスして、日頃から細菌やウイルスに負けない体づくりを心掛けてくださいね!

ワクチンにだけ頼る社会は、決して健全ではありません。

ワクチンに関する情報はかなり偏っています。ワクチンは強制ではないけれど、職場での同調圧力や差別偏見に押し潰されそうな方からの相談がたくさんあります。国への報告がされず、副反応で辛い状況の方も

いらっしゃいます。

市民の皆さんのがんばりと健全な社会づくりのため、自然の摂理に逆らわず、人にやさしい、人がやさしいまちの実現のために、提案し続けます!



9月議会では「新型コロナウイルス遺伝子ワクチン接種と感染症対策について」質問しました。

福岡市議会のHPで動画視聴できます。(10月の決算についての質疑や討論の内容は中面をご覧ください。)

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/fukuoka/WebView/rd/speaker_minutes.html?speaker_id=56

生活って政治! 「住んでるまちを 住み続けられるまちに」市民とともに

「暮らしのための議会」を実現するため、皆さんのご意見や思いを聞かせてください。

事務所

092-662-5077



森あやこ 公式ブログ
<http://ayako966.blog.fc2.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用いて発行しています —

寄り添える市政に！ のために使って、一人ひとりに 住民福祉のため使う税金を

2020年度の福岡市の決算は、コロナ禍で市税収入が減少する中、不用額(予算執行されなかった額)は**425億円**、一般会計は実質収支**86億円**の黒字でした。特に、新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金について多額の不用額を生じさせたことは問題です。結果的にほかの予算に使われることになるからです。これでは感染症対策を十分取り組んだと言えません。

毎年生じる多額の不用額や開発事業などを見直せば、生活困窮者の支援、子どもへの支援・投資、現在過労死ラインを越えた残業量の市職員の働き方や会計年度任用の雇用のあり方、地球温暖化防止対策、災害への備えなどを充実させることができます。天神・博多駅前の再開発やウォーターフロント開発には、5年間で79億円余、コロナ禍の2020年でも**19億円弱**が支出されています。たとえば子どもの権利条約では子どもの育つ権利を保障する責務が福岡市にあります。また障がい者差別解消法及び福岡市障がい者差別解消条例では

合理的配慮が求められており、一人でも必要な子どもがいれば自閉症・情緒障がい特別支援学級やエレベーターの設置など必要な措置を執るべきです。

今後の社会をより良いものにするために、より一層一人ひとりに寄り添える施策が必要です。都市の成長路線を一日も早く転換し、「住民の福祉の増進を図る」という地方自治の原点に立ち戻り、格差社会を是正できる市政運営に転換すべきです。



\コロナ対策 /
職員の働き方の改善と、ワクチン未接種者への差別の禁止を！

森 あやこ 議員 (10/6 決算特別委員会総会質疑)

PCR検査数が増えた結果、今年8月の保健所職員の時間外勤務は平均約90時間、最大221時間と、過労死ラインの2倍超となりました。災害時と同じく、職員の働き方を支えフォローすることが必要です。データを分析・精査し市民に分かりやすく情報を届けることが重要ですが、データなどの収集すら十分にできておらず、職員の働き方を改善すべきです。

またコロナワクチンについて、政府は9月に接種を入学や雇用の条件にすることなどは差別に当たるとする「基本的な考え方」を公表し、石川や長野、高知など8県では条例で未接種者への差別を禁止しています。本市でも条例制定を求めていました。



\ 小児科学会・小児科医会も指摘 /
特に子どもへのワクチン接種は慎重に！

あらき 龍昇 議員 (9/8 一般質問)

子どもへのワクチン接種について、小児科学会は「慎重に実施されることが望ましい」「メリットとデメリットを本人と養育者が十分に理解していることが前提」、小児科医会も「副反応は高齢者に比べ年齢の若い方により多く発現する」として、慎重な対応を求めています。

教育委員会は、児童生徒や保護者に対して「接種を強制してはいけないこと」や「接種を理由とするいじめがあってはならないこと」などを記載したプリントを配布していますが、ホームページには掲載しておらず、さらなる周知徹底が必要です。

ワクチン接種について正しく理解されなければ同調圧力やいじめに繋がると考えます。学校現場で児童生徒間の分断、いじめ、差別が生じないよう対応を求めました。

因果関係は分かっていませんが、国が把握しているだけでも、福岡市内で副反応疑いが123件、うち死亡事例が9件あります。(8/31時点、国からの情報提供)



議会 TOPICS



□ 市民の皆さんの請願する権利を応援！

今議会では「すべての小中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級設置を求める請願」「35人学級の恒久的な完全実施を求める請願」「平和資料館の設置を求める請願」の紹介議員になりました。

□ 九州初 公立の夜間中学校がスタート！

近年、不登校の児童・生徒が増え続けていることや、海外からの住民が増えていることなどから、多様な学びの場が必要です。以前、福岡市議会にも夜間中学校の設置を求める請願が出されていましたが、9月議会でこの設置に関する補正予算が成立しました。来年4月、早良区百道の教育センターに開設されます。

□ 個人情報保護条例の改正案は否決に！

福岡市では昨年から自衛隊員募集のために18歳・22歳の市民の個人情報を「本人の同意がないまま」自衛隊に手渡しています。今回のように公益性が極めて低いと認められる場合には「本人の同意をとる」ように改正する案が

議員提案され、私たち会派は賛成しましたが、賛成少数で否決されました。

□ 議会改革、進まず。会議すら開かれず。

2015年に特別委員会ができてから6年が経ちました。今年1月までは議会基本条例の制定に向けて盛り上がってきましたが、現在はトーンダウンしています。特別委員会の会議すら開かれないと状態が続いている。今後も私たち会派は、市民の皆さんのが市政に反映できるよう議会改革を訴え、議会基本条例の制定をめざします。

□ 国は沖縄戦没者の遺骨を含む土砂の採取をやめるべき！

議会最終日に私たち会派が提案した「沖縄戦没者の遺骨等を含む土砂を採取しないこと等を求める意見書」が全会一致で可決しました。一部会派の意見により「新基地建設」の文字は削られましたが、辺野古新基地建設に遺骨土砂を使うことは人道上許されないことであり、死者に対する二重の冒涜であると考えます。

\ 人口も減少 / 持続可能な水道事業を！

森 あやこ 議員 (10/6 決算特別委員会総会質疑)

2020年度は水道料金収入が大きく減少しました。コロナ禍の影響が長引けば、厳しい経営状況が続くと思われます。現在、老朽化を機に浄水場再編事業が進められ2024年からは日量約13万トンの規模縮小(78万トン→65万トン)を予定しています。本市は海水淡水化した水も活用していますが、生産するほど赤字が増え、エネルギー消費も大きく温暖化を促進するという課題があります。いずれは人口減少で水需要量も減少します。昨年から大容量の五ヶ山ダムが供用開始し、渇水洪水対策も整備されました。今後の水道料金収入の減少を見込んだうえで、効率的な事業運営と広域連携の議論を深めていく必要があります。また良質な水源を守ることや節水など、地球環境問題を踏まえた水道事業であるべきと、強く求めました。



\ 2040年脱炭素(ゼロカーボン) / まず市が率先して省エネと再エネの取り組みを！

あらき 龍昇 議員 (9/8 一般質問)

脱炭素社会の実現に向けて福岡市は、国よりも10年早い、2040年の達成をめざすと表明しています。現在、市は温暖化対策の計画の見直しを進めていますが、まだ具体的な施策や道筋が見えてきません。目標達成のためには市民や企業と協力して取り組む必要がありますが、まずは市みずからが率先して市有施設の省エネ構造への転換やエネルギーの効率的な利用、太陽光パネルや蓄電池などの設備の導入を進めていくべきです。総割りを超えて、環境局が統括して全庁が一体的に計画を立て、達成度をチェックしていく必要があります。



議会での質問後、市は「福岡市役所地球温暖化対策率先実行計画(案)」の検討を進めています。公用車についても脱ガソリン車へ切り替えていく計画(案)となっています。



議会報告ニュース

[第24号]

公式サイト <http://midoritonet.info>

秋 / 冬 2021
号

発行:緑の党と市民ネットワークの会/〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟11階/TEL.092-711-4875/FAX.092-733-5881



コロナ対策・支援は十分だったのでしょうか？

2020年度は何度も補正予算が組まれ、当初予算8874億円に対し、最終的な決算額は1兆2579億円まで膨らみました。うち、感染症対策の決算額は約4527億円。国や県からの支出以外に市独自でも「商工金融資金の預託金 2658億円」「休業・時短要請への協力店舗等への家賃支援 40億円」「医療従事者に対する特別給付金 14億円」などに取り組みました。

予算に計上されたものの実際に使われなかった予算を「不用額」と言いますが、例年は200億円程度にもかかわらず、2020年度は**425億円**もありました。



◆基金は十分に積み立てられたまま……

市は大規模災害の発生などで大幅な税収減などが起こることを想定して、財源に余裕のある年に「財政調整基金」を積み立てています。感染症対策・支援策で支出が増加する一方、税収の減少が見込まれたことからその基金を取り崩す予定でした。

しかし、
・あとから国からの補助が入ってきた
・実際の税収はそれほど落ち込まなかった
・多額の不用額が生じた

などにより、一般会計は**86億円**の黒字となり、基金の取り崩しはほとんどなく、むしろ一般会計が黒字だったことから基金は**27億円**増える結果となりました。

	2016年度末	2020年度末
一般会計 基金 総額	655億円余	894億円余
財政調整基金	242億円余	368億円余
スポーツ振興基金	20億円余	41億円余
土地開発基金	64億円余	151億円余

市民の暮らしを支える
ために使わなきゃね!!



◆緊急時の税金の使いみちとして疑問が残ります

持続化給付金や雇用調整助成金などの対策により、昨年9月に見込んでいたほどには税収が落ち込まなかつたことは評価できます。福岡市は2兆円超の借金があるため無駄遣いはできません。しかし、不要不急の事業を延期や中止して財源を捻出したとはいえ、

基金は十分に積み立てられたまま、**425億円**もの不用額が生じ、「都市の成長」のための投資を優先させている状況を見ると、非常時の税金の使いみちとして疑問が残ります。このお金で市民の皆さんが求めていた支援をもっと手厚くできたのではないでしょか?